

第 19 回 滋賀県国民健康保険運営協議会の結果概要

1. 日 時 令和5年12月11日（月）15時00分から16時30分まで
2. 場 所 滋賀県危機管理センター1階 会議室1
3. 出席委員
寺井委員、深尾委員、岡本委員、藤井委員、高橋委員、諸頭委員、柳本委員
高山委員、足立委員、瀬古委員、廣瀬委員、岸田委員、寺村委員
4. 欠席委員
黒川委員
5. 事務局職員
奥山健康医療福祉部次長、谷医療保険課長、稲葉参事、山田課長補佐、小林主幹、田中主査、西田主事
6. 会議の内容
(1) 第3期 滋賀県国民健康保険運営方針の策定について
(2) 第2期 滋賀県データヘルス計画の策定について
7. 主なご意見等

(1) 第3期 滋賀県国民健康保険運営方針の策定について

- 令和9年度を目途に保険料水準を統一するということだが、これに対する市町の意見や協議状況について教えていただきたい。
→ほとんどの市町から令和9年度の統一が良いのではないかと意見をいただいている。
- 現状の市町間の保険料の格差がすごく大きいということが分かった。
- 納付金の精算制度について、他府県に先んじて取り組んでいくことはすごく良いことだと思うので、ぜひ頑張ってください。

(2) 第2期 滋賀県データヘルス計画の策定について

- 特定保健指導を受けやすい環境づくりが一番大事かと思うので、国保の集団健診においても、健診の当日に指導が受けられる体制づくりを進めていただきたい。
- 広報だけでなく、特定健診等の申し込み自体をSNSでおこなえるようにすることを、ぜひ検討していただきたい。

- がん検診の受診率には職域が絡んでくるが、企業は努力義務であり、実施しないところもあるため、その辺りもしっかり対策をとっていただきたい。
- 心疾患について、虚血性心疾患ではなく、心不全に着目されたことは非常に評価できるが、具体的な部分がなかなか見えてこない。
- 国が骨太の方針で打ち出した「国民皆歯科検診」の実践に向けて、今後もより一層県と連携して取り組んでいく必要があると思う。
- 県としてどの情報を発信していくべきか、偏った情報だけではなく、色々な角度からの情報を発信していくことが大切ではないかと思う。
- 今後も被保険者が保健指導を気軽に受けられるような雰囲気づくりに取り組んでいただけるとありがたい。
- SNSを使って健診の申し込みをできるようにすれば、若い人たちがもっと健診を受けるようになると思う。
- 市町からの特定健診の案内の中に、もっと特定保健指導にかかる項目について、被保険者に訴えるものがあると良いと思う。
- 特定保健指導を受けることについて、何かしらメリットを感じられるようなことを訴えていけば、もっと受ける方が増えるのではないかと思う。
- 外国にルーツがあって日本語のアクセスにハンディがあるような方などに対して、各事業の実施をどのような形で伝えていくことが有効なのか等について、何か分析されたものがあれば教えていただきたい。
→そのような分析は現状おこなっていない。
- 健診を受けた人を必要な診療へと導くことも医師の役割であり、また、健診は必要ないと思っている方にきちんと説明して健診を受けてもらうこともやはり医師の役割である。つくづく医師の責任の重要性を本日の話を聞いていて改めて感じた。

以上